

## 落下の危険がある遊具での事故事例と防止対策

鉄棒や雲梯、ジャングルジムやのぼり棒など、高さのある遊具は子供にとって魅力的であると同時に、安全にも注意する必要があります。高い所から落ちた際、幼児はまだうまく受け身をとることができないため、大けがをする事故が報告されています。

### 落下の危険がある遊具での事故の事例

#### 事故事例 1：鉄棒

4歳の女兒が遊戯室に設置された鉄棒に両足をかけて遊んでいた時、足が鉄棒から離れ、固い床に落下してけがをした。

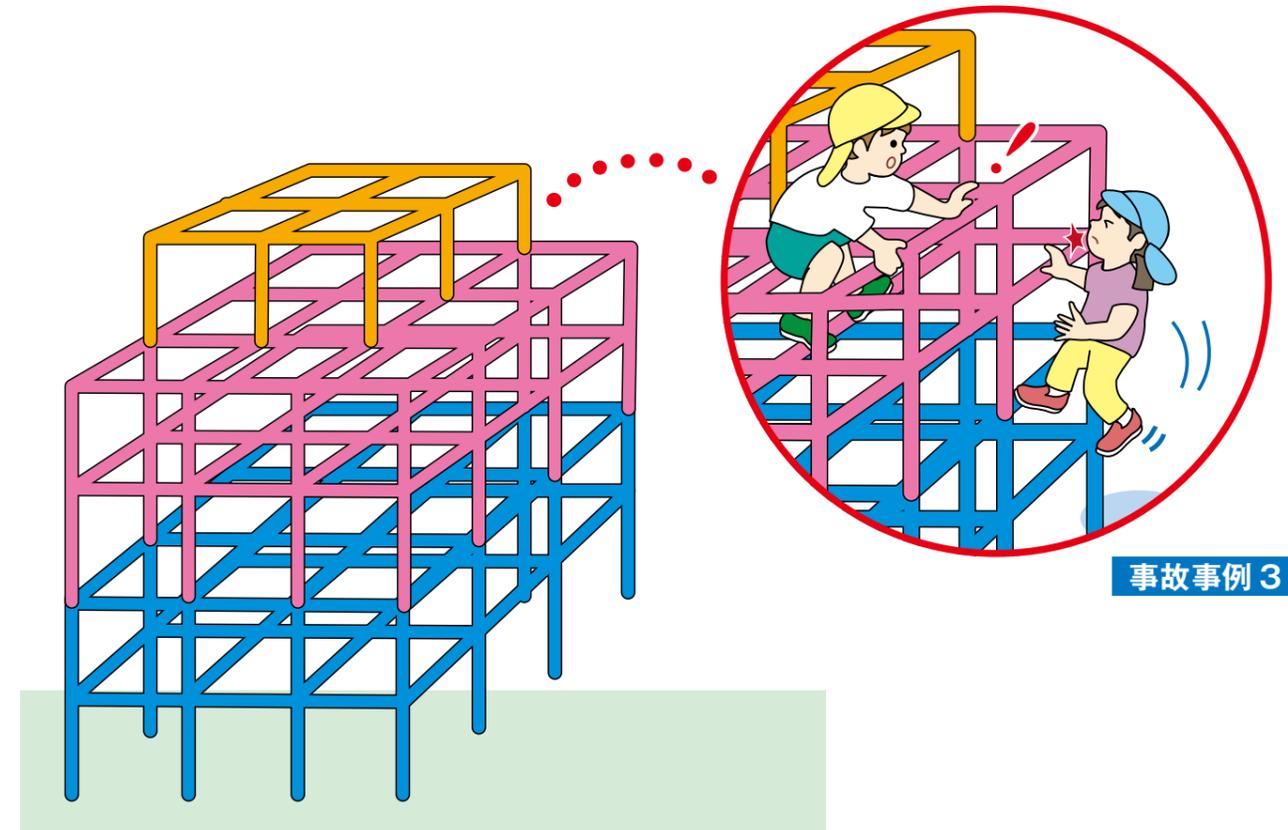
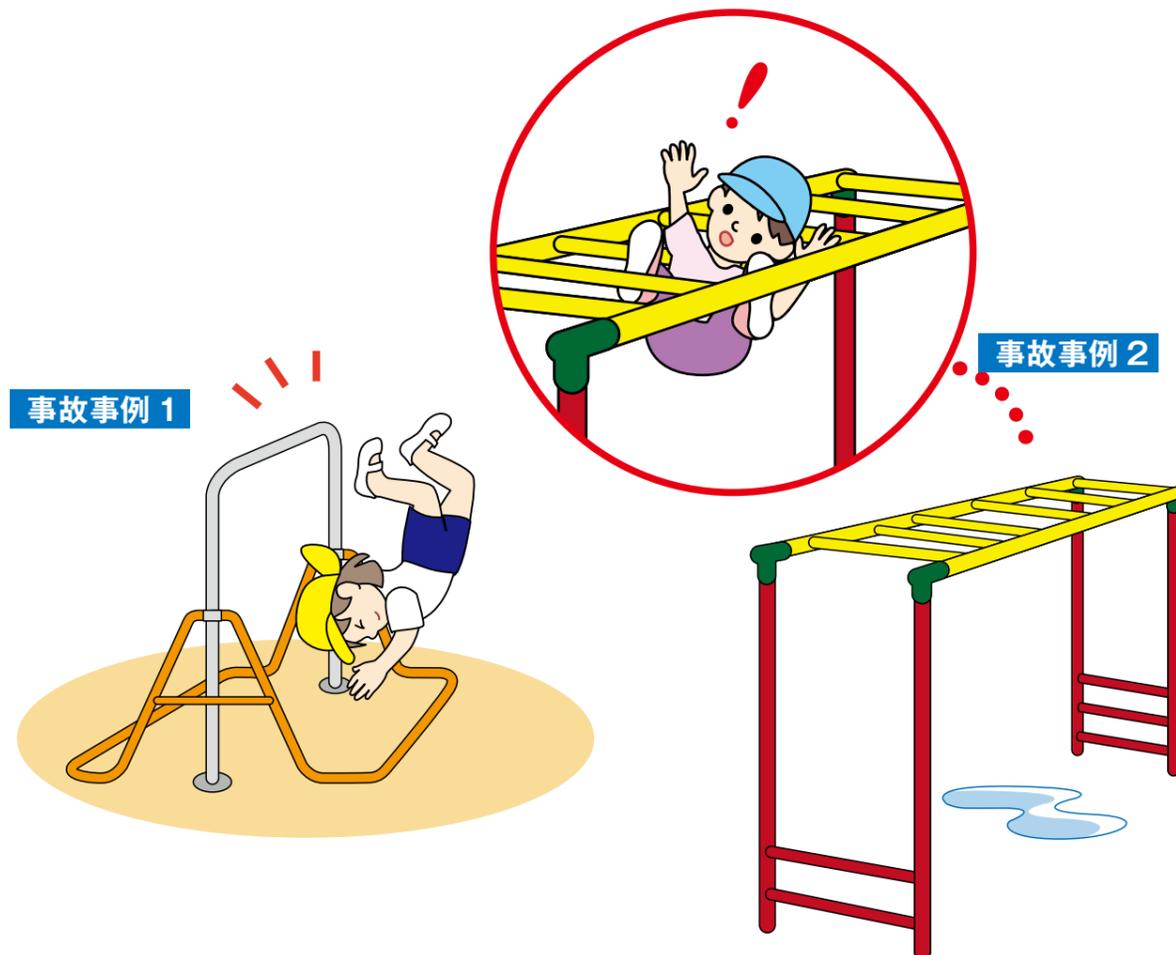
#### 事故事例 2：雲梯

3歳の女兒が雲梯の上に腰をかけて友達とふざけていたところ、横棒の間から体がすり抜けて落下、腕を骨折した。

#### 事故事例 3：ジャングルジム

6歳の女兒がジャングルジムで遊んでいて、上段から後ろ向きに飛び降りて逃げようとして、足を踏み外して横棒にあごをぶつけた。

出典：災害共済給付制度（独立行政法人日本スポーツ振興センター）



事故事例 3

### 落下の危険がある遊具事故を防ぐために

#### 子供への指導

##### 遊びのルールを教える

- ・高い所では手を離さない
  - ・高い所から飛び降りない
  - ・あわてずにゆっくり降りる
  - ・鉄棒や雲梯の上を歩くなど間違った使い方はしない
- などの基本的なルールをしっかりと子供に教えましょう。

#### 保育施設の対策

##### 特性にあった指導

幼児一人ひとりの年齢や体力、運動能力などを考慮して、適切な指導を行いましょう。

##### 遊具の整備・補修を念入りに

- ・摩耗や腐食等の老朽化がないか
- ・危険な突起や折れ曲がり等がないか
- ・地面にコンクリートや石がむき出しになっていないか

などを定期的に点検し、整備・補修を行いましょう。また、雨の後は滑りやすくなり危険です。水滴はしっかりと拭き取りましょう。

##### 地面の素材を柔らかいものにする

落下した場合を考え、地面をウッドチップやゴム、人工芝等の柔らかく、衝撃を吸収する素材にしたり、危険な場所にマットを敷くこともいいでしょう。